

『フロンの排出抑制対策セミナー』

京都議定書で義務付けられた 2008～2012 年度の温室効果ガス削減について、原子力発電所がほとんど稼働していない今年度の日本の排出量は大幅に増え、削減率は 1990 年度に比べ 1.0%にとどまることが環境省の試算で判明しています。

そうした中、地球温暖化に大きく影響するフロン（特に HFC）については、年々増え続けており、その対策が急務となっています。

特に、業務用冷凍空調機器を廃棄する際のフロン回収率が約 3 割と低迷していることや、冷凍空調機器の使用時において漏えいしているフロンの量が機器廃棄時に排出される量よりも多く、冷凍空調業界あげてその対策に取り組んでいるところであります。

そこで、一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会（日設連）では、「漏えい点検・修理ガイドライン（JRC GL-01）」と「漏えい点検資格者規程」を策定し、全国で資格者の養成と定期漏えい点検をスタートさせました。また、フロンの使用時排出を抑制するために、機器設置施工段階において漏れない施工を確実に実施するための「冷媒配管工事施工標準」を作成し、施工業者に対して、施工方法の周知徹底を図っていくところであります。

つきましては、機器のユーザーの皆様、ひいては一般国民の皆様に、フロンの排出抑制の重要性についてご理解をいただくため、また、施工業者や保守サービス業者の皆様に、漏れない施工技術、漏えい点検技術の必要性について周知するため、この度日設連では、公益信託地球環境保全フロン対策基金の助成を受けて「フロンの排出抑制対策セミナー」を開催することにいたしました。

多くの皆様にご参加いただくと同時に、フロンの排出抑制の重要性についてご理解を賜りたいと存じます。多くのご参加をお待ちしております。

一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会

1. 主催： 一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会
2. 共催： 一般社団法人北海道冷凍空調設備工業会、一般社団法人宮城県冷凍空調設備工業会、一般社団法人東京都冷凍空調設備協会、中部冷凍空調協会、中国冷凍空調工業連合会、香川県冷凍空調設備工業協会、西日本冷凍空調工業会
3. 参加費： 無料
4. 対象者： 冷凍空調機器の使用者・所有者、その他一般の方々
冷凍空調設備の施工者、保守サービス従事者
5. 内容： 第 1 部 冷凍空調機器使用時のフロン排出抑制対策について
・ 冷凍空調機器の使用時におけるフロンの排出抑制の重要性とその対策について説明します。
第 2 部 冷凍空調機器の冷媒配管工事（施工標準）について
・ フロンを漏らさない施工技術、漏えい点検技術の必要性について説明します。
・ 冷媒配管に係る漏えい事例や施工不具合事例について説明します。

6. 日 時:

	日 程		場 所	会 場	時 間	定 員
1	2012年	11月8日(木)	札 幌	アクセスサッポロ	13:30~16:30	150名
2		12月13日(木)	高 松	サンメッセ香川	14:00~17:00	100名
3	2013年	2月7日(木)	仙 台	仙台ガーデンパレス(4階「羽衣」)	13:30~16:30	100名
4		2月15日(金)	広 島	KKRホテル広島(1階「孔雀」)	13:30~16:30	100名
5		2月19日(火)	名古屋	東桜会館(1階「第2会議室」)	13:30~16:30	80名
6		2月20日(水)	東 京	機械振興会館(地下1階「研修1」)	13:30~16:30	100名
7		3月5日(火)	福 岡	福岡商工会議所(4階「406-407号室」)	13:30~16:30	100名

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会 御中
FaxNo.03-3435-9413

『フロン₂の排出抑制対策セミナー』

参加申込書

(年 月 日)

住 所	〒		
会社名			
参加者氏名		部署役職名	
電 話		F A X	
参加希望会場	札幌(11/8) 高松(12/13) 仙台(2/7) 広島(2/15) 名古屋(2/19) 東京(2/20) 福岡(3/5) (希望会場 (いずれかに○印))		

※折り返し、参加証と会場地図をFAXいたします。

※定員になり次第締め切ります。